

桜の聖母学院中学校・高等学校  
校 長 伊達 幸子

平成 25 年度は、桜の聖母学院中学校に 51 名の皆さん、高等学校に 154 名の皆さんをお迎えできることを嬉しく思い、心から歓迎いたします。

桜の聖母学院は、コングレガシオン・ド・ノートルダムという名前の修道会によって設立されたミッションスクールです。私たちの学校のもともとの始まりは、今からおよそ 355 年前に遡ります。

1653 年、日本で言えば江戸時代の初めごろ、フランスから一人の女性、マルグリット・ブルジョワがカナダに渡り、現在のモントリオールで小さな学校を始めました。マルグリットは、フランス人の子どもたちもカナダの先住民の子どもたちも分け隔てなく教育し、新しい国づくりに貢献できるように、信仰教育と読み書き、算数などを教え、また、若い女性たちが自立できるように助けました。

その後、マルグリットの生き方に賛同する女性が増えてきて、コングレガシオン・ド・ノートルダムという修道会ができました。修道会の会員は、増え続け、今は、カナダ各地のほか、アメリカ合衆国、中米のグアテマラ、ホンデュラス、エルサルバドル、アフリカのカメルーン、ヨーロッパのフランスに支部があります。

日本には、今から約 80 年前にカナダから 5 人のシスターが来日し、桜の聖母学院を創立しました。ノートルダムというのは、フランス語で聖母マリアのことを意味しているので、学校の名前をつけるときに聖母マリアさまの名前をいただき、日本の象徴の花、桜をつけていただきました。

私たちは、生まれた日や場所は一人ひとり違いますが、縁があって、今日ここに集い、桜の聖母学院中学生、高校生になりました。ここで出会う友達は、これからの長い人生の中でもかけがえない友達になるでしょう。喜びのときも悲しく苦しいときも共に分かち合い、励ましあえる仲間です。

ここにいる私たちはみな、ご両親の愛に育まれてここに存在し、同じ願いを持っていると思います。それは、幸せに生きるということです。

たぶん、今から 12 年前とか 15 年前、みなさんが誕生したとき、ご両親や家族の皆さんが皆さんの誕生を、「よかったわね」と喜び、みなさんは心から祝福されたことと思います。私たちは、記憶している、していないにかかわらず、ともかく、みな、それぞれが尊敬できる人から無償の愛をうけてきて、少しずつ成長し、中学生・高校生になりました。

そして、皆さんは一人ひとり、かけがえのない命をいただき、また、あなたにしかできない才能・賜物をいただいています。それを見つけ、伸ばしていけるように、私たち教職員が皆さんをサポートします。皆さんの持っている才能はそれだけでも素晴らしいのですが、それを周りの人々のためにあなたの才能を使うとき、人々に癒しをもたらしたり、喜びを与えたり、感動を伝えることができます。

今日読まれた聖書の言葉には、「求めなさい。そうすれば、与えられる。」ということばがありました。自分にあてはめて考えてみましょう。「求めなさい」と言われていますが、私は何を求めているのでしょうか。世界の人々と友達になりたい、様々な病気を治す研究者になりたい、国際社会で活躍するビジネスパーソンになりたい、音楽や芸術の分野で活躍する人になりたい、福島の復興に貢献できる政治家になりたい、など様々な夢を追い求めましょう。十代のころに持っている夢は、それを実現できる可能性があります。どうぞ大きな夢を持って、それを実現できるように地道に努力していきましょう。私たちはたいいてい、自分を中心に考えがちなので、「愛されたい、優しくしてほしい、親切にして欲しい、励ましの言葉をかけてほしい、人から認められたい……」と思います。ですから、今日の聖書のメッセージは、「求めなさい、そうすれば、天の父なる神様は、求めるもの

によいものをくださるに違いありません。だから、あなた方は、人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい」というお勧めです。

人から理解されたいと思うなら、先ず、人を理解するようにし、人から、大切にされたいと思うなら、まず、人を大切にしましょう。

今もすでにグローバル社会（国際的な社会）になっていて、人や物や情報が国境を越えて行き来しています。皆さんが大人になるときは、今よりもっと世界の人々と交流が盛んになり、皆さんも海外に行く機会が増え、外国からのお客様を迎える機会が増えることと思います。

私だったら、せいぜい、友達との待ち合わせは、「東京駅の銀の鈴で会いましょうね。」という程度ですが、皆さんが大人になるとき、「私明日から、ニューヨーク出張なの」とか、「私の親戚は、フランスのシャンパーニュ地方にいるの」とか、「サッカーの試合でブエノスアイレスに行くの」と言うような会話がごく普通の家庭でも聞かれるでしょう。

刻々と社会情勢は変わり、経済の動きは変化し、その場そのときに応じて新しい知識を学ばなければなりません。大人の私たちも、絶えず、学び、社会の変化に対応し、新しいテクノロジーについていかなければなりません。みなさんにとって、今、大切なことは、自分から学び続ける習慣を身につけることです。

教会のカレンダーで、今週の日曜日（3月31日）は復活祭でした。自然界が新しい生命によみがえるこの時期に、イエス様の復活を世界中の人々と喜び祝う日です。この出来事は、人間の一生が死ぬことで終わりではなく、新しい生命に生まれ変わることに、苦しみの後に必ず喜びがあるのだということを教えてくれました。

長い人生のうちには、順調に行くときも、失敗して落ちんだり、友人関係で悩んだり、思わぬ事故や病気に見舞われることもあるでしょう。世の中には、変えられることと変えられないことがあります。今日の天気などは変えることができません。また、すでに過ぎ去ったことなども変えることができません。変えることができるのは、私の未来、そして私のものの見方や考え方、受け止め方などです。

私の未来は、私が拓いていけるのです。前向きに物事を捉え、正しいこと、良いことを選んで実行し、今できることに集中して毎日を丁寧に過ごしていきましょう。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学おめでとうございます。進学先として、本校を選んでいただきました信頼にお応えできるよう教職員一同が一致して、教育活動にあたりたいと存じます。何かご心配な点などございましたらご遠慮なく、いつでも本校の教職員にご連絡いただければ対応してまいりたいと存じます。これからもあたたかくお子様の成長を見守っていただき、心身面のサポートをしていただけますようによろしく願いいたします。

皆様のご家族お一人おひとりの上に神様の豊かな祝福がありますようにお祈りして、式辞といたします。